

学んでなるほど! 財政クイズ!!

高浜市の未来を創る市民会議の財政分科会では、5回にわたって、分科会メンバーで作成した『財政クイズ』により、市の財政状況をお伝えしています。家族みんなでLet'sチャレンジ!!!!

答えの発表は3月1日号。
プレゼント当選者の発表は
4月1日号に掲載します。



今月のクイズ

まちのさまざまなところで使われている税金。暮らしを支える行政サービスを行うためにはとても大切なお金です。でも、「高浜市の税金(個人市民税)は、周りの市と比べると、高いよね。」といった話。聞いたことはありませんか?そこで問題です!!!

「高浜市民のみなさんが納めている税金(個人市民税)を算定するために使われる税率は、周りの市と比べて〇〇〇。」

「〇〇〇」にあてはまるのは次のうちどれでしょうか?

- ①高い ②安い ③同じである

税金には、他の市と比べて税率など税額の決め方が、同じもの(「軽自動車税」など)や、「国民健康保険税」のように、各市で税率にばらつきがあるものもあるんだね!

「個人市民税」とは…

1年間(1月1日から12月31日まで)働いて稼いだお金(所得)に対してかかる税金のことです。

メンバーの想い…

市民のみなさんの中には、勘違いしている方もいるのではないのでしょうか?

本当のことを知ることが大切ですよ。



「12月1日号」の当選者★ ★ ★

13人の正解者の中から、次の5人の方が当選しました。

- ・「すみっ子さん」さん
- ・「ばあば」さん ・「生駒」さん
- ・「池田」さん ・「鈴木」さん

正解者の中から抽選で5人の方に、私たちがおすすめする《たかはまグッズ》をお届けします! たくさんの方の応募をお待ちしています!

応募方法は

★はがき、または、メールに①答え ②住所 ③氏名 ④ペンネーム(希望する方)を記入して送ってください。
あて先 〒444-1398 高浜市役所 財務グループ Eメール zaimu@city.takahama.lg.jp
応募締切 2月20日(木)必着 ※直接持参可

「1月1日号」の正解は ②議会 でした。プレゼントの当選者は広報たかはま3月1日号で発表

問合せ先 困財務グループ ☎52-1111(内線306)

高浜市教育基本構想の実現に向けて⑥

～高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成～ 「幼・保、小、中一貫教育の推進」

Q 「異校種参観」ってどういうことをするの?

A ふたつ目のねらいは、幼保小中一貫教育を実現させるためです。10月1日号でも掲載しましたが、一貫教育の最大のねらいは「確かな学力」と「発達段階に応じた資質・能力の育成」です。身につけるべき時期に身につけるべき力を確実につけるために、教職員が子ども1人ひとりの成長過程を意識し、幼稚園・保育園から小学校へ、さらには、小学校から中学校へつながりのある教育活動を行うことが目的です。

そこで、高浜市内すべての幼保小中職員が、互いの教育観や指導観を理解し合うために、それぞれ異なる学校・園に出向き、子どもや授業のようすを参観することにしました。

なかでも、異校種のつなぎの部分にあたる年長・小1・小6・中1担任、さらには、小学校教員免許・中学校教員免許しか持たない教員はかならず参観するようにしました。

現在、50人を超える教職員が参観しています。

その中から、異校種参観に参加した声をいくつか紹介します。

【年長担任の声(小1学級を参観)】 小学校では、自分で見とおしをもって行動していた。そのために時間割や日程表が掲示してあり、そのとおりに生活や授業をしていた。園でも就学に向けて、そのように生活していく期間を設けるとよい。授業では「先生の話聞く」ことが基本であると実感した。保育の中で、その姿勢や態度が身につくよう、しっかり指導していく必要があるので、意識していきたい。

【小1担任の声(年長学級を参観)】 園児はのびのびとし、見つけたことやうれしいこと、心配なことなど何かあったらすぐに先生に伝え、聞いてもらって満足し、安心してた。学校では、授業や生活の面がかぎられた時間の中で多くのことをする。それらを身につけるために、話をきちんと聞かせること、がんばらせることが先立っている。学級でも、子どもの気づきを丁寧に聞けるようにしたい。子どもが思いを十分に表すことのできる環境を作っていくと、園とのギャップが少なくなる。また、水遊び前の準備運動では、音楽に合わせて体を楽しく動かした。体を使った表現は、子どもが楽しく学習ができるので学級でもさらに取り入れていきたい。

※次回は小6担任、中1担任の声を紹介します。

問合せ先 困教育センターグループ ☎52-1111(内線311)